

## トラック輸送情報（平成20年9月分）

平成20年12月19日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：桑原、佐藤 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://toukei.mlit.go.jp/>

### 1. 特別積合せ貨物

#### (1) 本月の概況

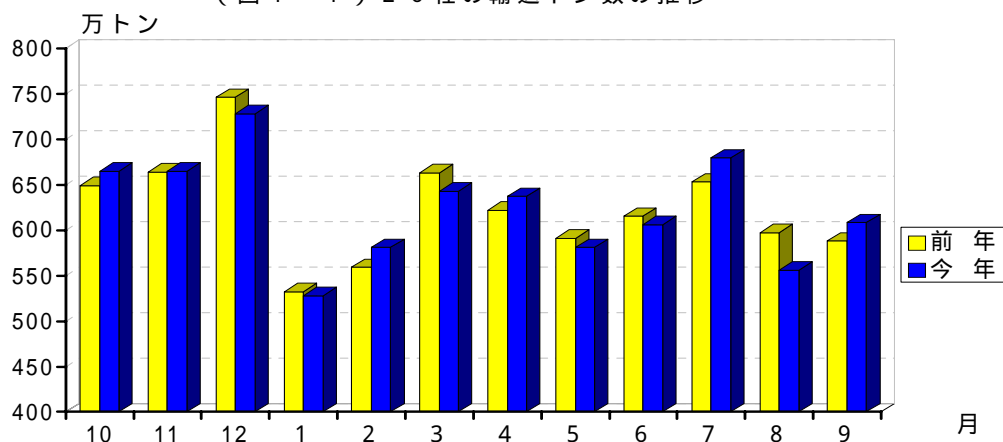
調査対象26社の本月の輸送量は、6,079,007トンで、前月と比べ総輸送量が約52万トン増加したため、前月比109.3%（季節調整済み102.3%）となり、前年同月との比較では、約20万トン増加したため、前年同月比103.4%の実績であった。

なお、平均稼働日数は23.5日で、前月と比べ0.8日の増加、前年同月とは同一の日数であった。稼働1日当たりの輸送量は、258,681トンで、前月と比べ約1万4千トン増加したため、前月比105.6%となり、前年同月との比較では、約3千トン減少したため、前年同月比99.0%の実績であった。

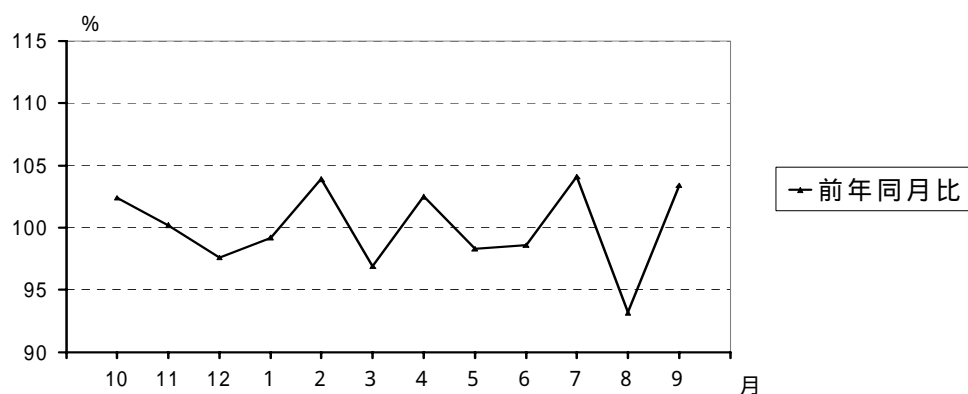
（図1-1、図1-2参照）

注）平成20年4月から貨物輸送の調査対象については、従来対象としていた7社の合併により26社となった。

（図1-1）26社の輸送トン数の推移



（図1-2）26社の輸送トン数の前年同月比



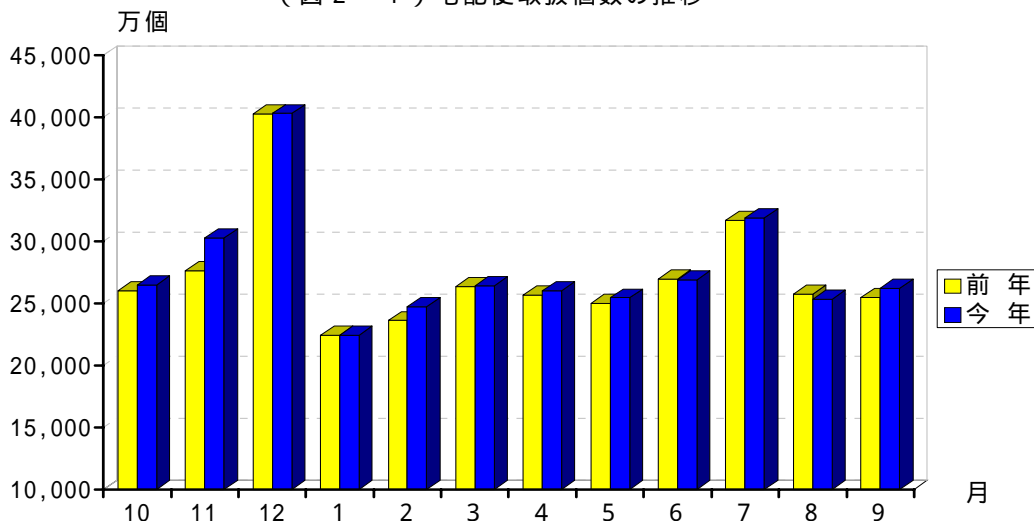
(2) 宅配便の概況

調査対象 20 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、261,937 千個で、前月と比べ 約 854 万個増加したため、前月比 103.4% (季節調整済み 100.8%) となり、前年同月との比較では、約 708 万個増加したため、前年同月比 102.8%の実績であった。

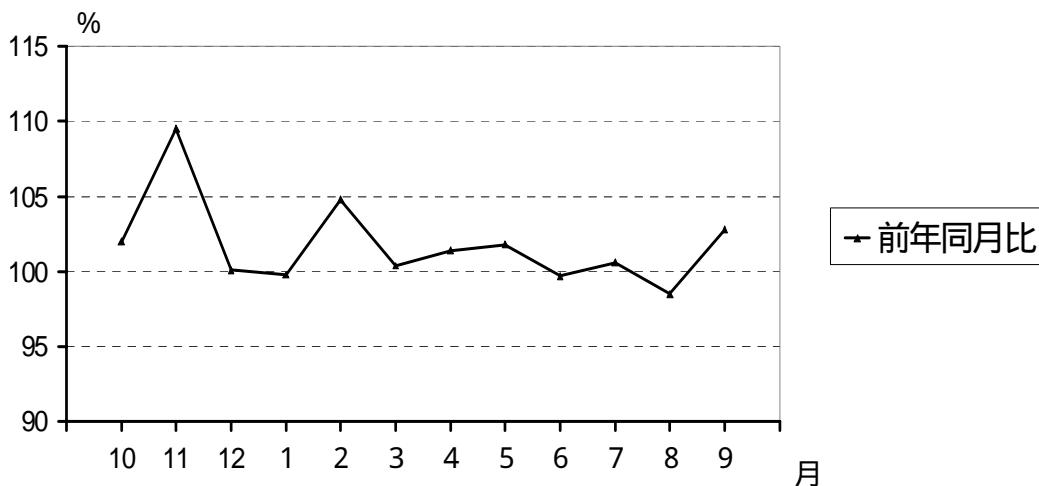
(図2 - 1、図2 - 2 参照)

注)平成 20 年 4 月から宅配便輸送については調査対象が 1 社増え、20 社となった。  
対前年同月比並びに対前月比は、20 社ベースで比較している。

(図2 - 1) 宅配便取扱個数の推移



(図2 - 2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 26 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、稼働日数の増加、8 月のお盆休み等に伴う輸送量減少の反動及び中間決算期の影響等により一般的に輸送量が増加した。増加要因としては、工場・生産地からの貨物増がほぼすべての品目に共通してみられたほか、「機械」、「化学工業品」では季節的需要増、「食料工業品」、「日用品」では商社・問屋からの貨物増、倉庫から出る貨物増等も要因となっている。地域的には、「その他(宅配便)」が関東地方で増加したほか、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」、「繊維工業品」、「食料工業品」、「日用品」については、ほぼ全国的に増加がみられた。

前年同月と比べると、一部、輸送量が減少した品目もあるものの、一般的には若干の増加となった。「金属製品」、「機械」では工場・生産地からの貨物増、「その他(宅配便)」ではデパート・スーパーの貨物増が増加要因となっているが、「化学工業品」では工場・生産地からの貨物減が減少要因としてあげられる。地域的には「金属製品」が関東、北陸信越で、「機械」が関東地方、愛知、中国で増加した一方で、「化学工業品」が大坂、中国で減少した。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 26社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	増減要因		
	著増	増	変らず	減	著減					
前 月 に 比 べ て	農水産品		5	11	2	1	野菜 青果物	関東 中国	4	
	金属製品		8	12	1		その他の金属製品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4	
	機械	1	8	12			その他の機械、機械部品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 8	
	化学工業品		11	11	1		合成樹脂、その他の化学工業品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 8	
	繊維工業品	1	7	15			織物	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、大阪、近畿	4	
	食料工業品		8	13			飲料、その他の食料工業品、加工食品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、兵庫、近畿、福岡	4, 7	
	日用品	1	11	9	1	1	書籍・印刷物、衣服、その他の日用品	全国	4, 5, 7	
	その他	1	9	7	4	1	宅配便 百貨店配送品	関東地方	4, 5, 7	
	前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	1	3	14	1				
		金属製品		6	13	2		その他の金属製品	関東、北陸信越	4
機械			5	14	1	1	機械部品	関東地方、愛知、中国	4	
化学工業品			5	14	2	3	その他の化学工業品	東北 大阪、中国	4	
繊維工業品			3	17	3			神奈川、北陸信越、兵庫、近畿		
食料工業品			6	12	2	1	その他の食料工業品	関東、中部地方、近畿地方、福岡		
日用品			6	10	6		その他の日用品 書籍・印刷物	東北		
その他		1	6	9	5	1	宅配便	全国	2	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

## 2 . 一般貨物

### (1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 815 社 / 調査対象事業者数 1,075 社）の輸送量は、前月比 109.0%、前年同月比 101.7%であった。

### (表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全国	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
前月比	109.0%	111.2%	108.7%	111.4%	109.0%	110.2%	102.1%	111.7%	104.0%	109.2%	97.4%
前年同月比	101.7%	107.6%	97.5%	99.5%	105.9%	97.8%	97.9%	100.1%	95.4%	102.3%	124.9%

### (2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比 111.2%、対前年同月比 107.6%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「砂利・砂・石材」、「金属製品」、「セメント」等の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「野菜・果物」、「その他の農産品」、「動植物性飼肥料」の輸送量にも増加がみられた。一方、工場・生産地からの貨物減等により「紙・パルプ」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 108.7%、対前年同月比 97.5%であった。品目別には、季節的需要増等により「穀物」、「紙・パルプ」等の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増等により「砂利・砂・石材」の輸送量にも増加がみられた。一方、季節的需要減等により「野菜・果物」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 111.4%、対前年同月比は 99.5%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「機械」の輸送量が増加したほか、季節的需要増により「食料工業品」の輸送量にも増加がみられた。一方、商社・問屋からの貨物減等により「紙・パルプ」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、対前月比 109.0%、対前年同月比は 105.9%であった。品目別には、季節的需要増等により「穀物」、「野菜・果物」の輸送量が増加したほか、「機械」、「揮発油」の輸送量にも増加がみられた。一方、工場・生産地からの貨物減により「木材」の輸送量が減少したほか、建設関連の需要減等により「セメント」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに横這い傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 110.2%、対前年同月比は 97.8%であった。品目別には、季節的需要増等により「機械」、「食料工業品」の輸送量が増加した。一方、商社・問屋からの貨物減により「日用品」の輸送量が減少したほか、工場・生産地からの貨物減により「その他の製造工業品」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月は横這い傾向、以降は減少傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 102.1%、対前年同月比は 97.9%であった。品目別には、季節的需要増により「日用品」の輸送量が増加したほか、「化学薬品」の輸送量にも増加がみられた。一方、季節的需要減等により「食料工業品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 111.7%、対前年同月比は 100.1%であった。品目別には、季節的需要増等により「穀物」、「野菜・果物」の輸送量が増加したほか、建設関連の需要増等により「砂利・砂・石材」、「鉄鋼」、「機械」、「セメント」の輸送量も増加する等、増加品目が多くみられた。一方、工場・生産地からの貨物減等により「その他の石油製品」、「繊維工業品」、「日用品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 104.0%、対前年同月比は 95.4%であった。品目別には、建設関連の需要増により「セメント」の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により「食料工業品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月は横這い傾向、以降は増加傾向と予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 109.2%、対前年同月比は 102.3%であった。品目別には、季節的需要増等により「畜産品」、「紙・パルプ」の輸送量が増加したほか、建設関連の貨物増等により「砂利・砂・石材」、「その他の窯業品」の輸送量にも増加がみられた。一方、建設関連の需要減等により「セメント」の輸送量が減少したほか、季節的需要減等により「食料工業品」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月は横這い傾向、以降は減少傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比 97.4%、対前年同月比は 124.9%であった。品目別にみると、建設需要等の影響により「鉄鋼」、「機械」の輸送量が増加したほか、「食料工業品」の輸送量にも増加がみられたが、その他の品目については全般的に減少傾向となっており、「野菜・果物」、「その他の農産品」、「紙・パルプ」、「日用品」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局	北海道	東北	関東	北陸 信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		増											
1. 穀物	増	1	4		3	1		3					12
	減								1		1		2
2. 野菜・果物	増	7	1		3			7	1	6			25
	減		2					1	1	1	6	1	12
3. その他の農産品	増	3									1		4
	減		1								3	1	5
4. 畜産品	増	2	1								3		6
	減	2											2
5. 水産品	増	1						1			1		3
	減	1	1										2
6. 木材	増	2	1		1				2				6
	減	3			2				1		1	1	8
7. 薪炭	増												
	減												
8. 石炭	増	1	1										2
	減	1	1										2
9. 金属	増						1				1		2
	減							1					1
10. 砂利・砂・石材	増	12	2						2	1	5		22
	減	4						1			2		7
11. 工業用非金属鉱物	増	1	1										2
	減	1	1								1		3
12. 鉄鋼	増	1	1	1					8		1	1	13
	減				1				1	1			3
13. 非鉄金属	増												
	減												
14. 金属製品	増	2			1	1	2	1			3		10
	減			1	1		2	2			1	1	8
15. 機械	増		2	3	3	3		6	1	3	1		22
	減		1			1	1	1		3	1		8
16. セメント	増	6	1		1	1		4	1	2			16
	減		1		2						4		7
17. その他の窯業品	増		1	1	1			1		3			7
	減							1					1

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		18. 揮発油	増	2			2				1	
	減	2										2
19. その他の石油製品	増	1	1		2			1		3		8
	減				2		1	2				5
20. コークス・ その他の石炭製品	増	1			1			1				3
	減											
21. 化学薬品	増						2	1	1			4
	減											
22. 化学肥料	増	1		1				1				3
	減		1							1		2
23. その他の化学工業品	増				1		1	4				6
	減							1				1
24. 紙・パルプ	増	1	3		1		1	4	1	3		14
	減	2		2			1	2			1	8
25. 繊維工業品	増								1			1
	減							2				2
26. 食料工業品	増	1	3	1	1	2	2	6	1	1	1	19
	減	1	3			1	3	5	2	5		20
27. 日用品	増						1	1		1		3
	減					1		4			1	6
28. その他の製造工業品	増		2	1			1	3				7
	減		1			1		1				3
29. 金属くず	増											
	減			1								1
30. その他のくずもの	増											
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	5	2	1	1					1		10
	減											
32. 廃棄物	増	1					1	1		2		5
	減	2							1	1		4
33. 輸送用容器	増	1								1		2
	減		1							1		2
34. 取り合せ品	増		1	1				1		1	1	5
	減					1				2	1	4
35. その他	増		1		4	2	1	3		3	1	15
	減		2	1	1	1	2			3	1	11